

小山工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	第二外国語ⅠⅡ	
科目基礎情報							
科目番号	0094		科目区分	一般 / 選択			
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	機械工学科		対象学年	5			
開設期	前期		週時間数	2			
教科書/教材	ミニマムドイツ語・ノイ (朝日出版社)						
担当教員	幅野 民生						
到達目標							
ドイツ語初学者を対象とし、ドイツ語の冠詞や動詞の人称変化など基本的な文法の習得を目指す。基礎的な語彙を増やし、簡単な文章を辞書を引きながら読めるようになることを目標とする。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	現在人称動詞と冠詞を適切に変化させることができる。定冠詞と不定冠詞を使い分けすることができる。		現在人称動詞と冠詞の格変化の規則が理解できる。		現在人称動詞と冠詞の格変化の規則が理解できない。		
評価項目2	名詞の複数形と人称代名詞を適切に変化させることができる。基本動詞から命令形を作ることができる。		名詞の複数形と人称代名詞の格変化の規則が理解できる。		名詞の複数形と人称代名詞の格変化の規則が理解できない。		
評価項目3	話法の助動詞や前置詞を適切に使用し文章を作ることができる。比較的長い文でも構造を正確に捉えることができる。		話法の助動詞や前置詞の意味が理解できる。		話法の助動詞や前置詞の意味が理解できない。		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 ⑥ JABEE (d-4) JABEE (E) JABEE (f)							
教育方法等							
概要	ドイツ語初学者を対象とし、冠詞や動詞の人称変化など基礎的な文法の習得を目指す。						
授業の進め方・方法	指定テキスト『ミニマムドイツ語・ノイ』に沿って授業を進める。中間試験と期末試験に加え、課題も出し授業の理解度を測る。成績は中間試験と期末試験を70点、課題を20点、授業活動への取り組みを10点に換算し、合計したものとする。合計点60点で標準的なレベルに到達したとみなす。						
注意点	・ 教科書を忘れずに持参すること。また、私語等授業の妨げとなる行為は減点の対象とする。 ・ 学校の規則上、就職活動(入社を含む)や編入試験による欠席でも、「公欠扱い」とはなりません。 ・ 教務係前の掲示に従い、クラスⅠの学生は(水)の3限で、クラスⅡの学生は(水)の4限で受講してください。 ・ 欠員補充はしません。 ・ 総授業数の1/4を超えて欠席すると(欠課数が8に達すると)、再試を受けられなくなります。 ・ 総授業数の1/3を超えて欠席すると(欠課数が11に達すると)、不合格となります。 ・ 担当教員の体調不良等でやむをえず休講にする場合は、図書館前に掲示します。 ・ Teamsはオンライン授業を余儀なくされたときのみ使用します。質問等は直接お願いします。緊急時は杉山教員に連絡してください。 ・ 追試や再試は杉山先生が実施します。追試や再試に関する相談は、杉山先生にしてください。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	ガイダンス Lektion0	授業概説 アルファベートと発音／数字／挨拶の表現			
		2週	Lektion1	動詞の現在人称変化／語順／疑問詞			
		3週	Lektion2	人称代名詞と人称変化／規則変化動詞／seinとhabenの変化			
		4週	Lektion3	不規則変化動詞			
		5週	Lektion4	格／定冠詞・不定冠詞の格変化			
		6週	Lektion4	格／定冠詞・不定冠詞の格変化 復習			
		7週	Lektion5	話法の助動詞			
		8週	Lektion 5	話法の助動詞			
	2ndQ	9週	Lektion6	所有冠詞と否定冠詞			
		10週	Lektion7	定冠詞類			
		11週	Lektion7	人称代名詞の3格・4格			
		12週	Lektion8	前置詞			
		13週	Lektion8	前置詞			
		14週	Lektion9	分離動詞			
		15週	Lektion10	動詞の三基本形／現在完了形			
		16週	前期定期試験	既習内容の確認			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							

	試験	課題	授業活動への取り組み	合計
総合評価割合	70	20	10	100
基礎的能力	70	20	10	100
専門的能力	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0